



市民の皆さまが夢を語り 幸せを感じ合える佐世保市を目指して

佐世保市長 宮島 大典

明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年春の市長就任後、初めての新年を迎えました。私に課された使命と責任の重さを常に胸に抱きながら、市民の皆さまのご期待に応えるべく、決意を新たにしているところです。

さて、昨年を振り返りますと、5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、社会全体が日常を取り戻しつつある中、市内でもイベントやお祭りなどが再開し、それらに参加する子どもたちの元気な声を耳にすることが多くなったことを、大変うれしく思います。

市政につきましては、所信表明でお示ししておりましたさまざまな地域や団体、若い世代を含めた幅広い世代の皆さまとの意見交換の場づくりとしての「車座集会」を「SASEBO 99 Talk M Café」と称して、10月からスタートしまし

た。市民の皆さまが夢を語り、幸せを感じ合える佐世保市を築くことが、市長である私の責務であり、皆さまの「声」と「想い」を大切にしながら、「市民の声が届く」「市民の想いが伝わる」風通しの良い市政を実現してまいります。

また、新たな取り組みとして、6月に「佐世保市防災ポータルサイト」を開設し、気象情報や避難所の開設情報、道路の通行規制情報などの災害に関する情報を、リアルタイムに市民の皆さまにお伝えできるようになりました。

さらに、7月には、電子地域通貨「させぼeコイン」事業を開始し、これまで以上に、スマートフォンを使ったキャッシュレス決済の推進や、eコインの域内循環による地域経済の活性化を図ってまいります。

加えて、8月と10月には喫緊の課題への対応や市民目線での市政推進を図るため、組織の見直しを行いました。

8月と10月に行った組織の見直し

8月の組織見直し

- 新型コロナウイルス感染症の5類移行にかかる経過措置等への対応を行うため「新型コロナウイルス感染症対策室」に再編。また、従前からの感染症対策や今後新たに発生し得る未知の感染症への対応を図るため「感染症対策課」を新設
- 2050年までに市内における温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」の

実現に向け、「ゼロカーボンシティ推進室」を新設

- 戦略的広報の推進や広聴と連携した効果的な広報の実施等に当たり、マネジメント体制を強化するため、「広報広聴課」を新設

10月の組織見直し

- クルーズ船社等への戦略的なポートセールスやプロモーションに加え、受け入れ調整までを一元的に行う「クルーズ事業推進室」を新設

現在、佐世保市では今後目指すべきまちづくりの目標と取り組みを総合的に示す「第7次佐世保市総合計画後期基本計画」の策定を行っています。この中で、私が掲げている「99の政策」の実現に向け、令和6年度からの本市におけるまちづくりの方向性を示してまいります。

後期基本計画における主な変更点

- 最重要課題である人口減少対策の要として「子育て支援・教育の充実」を計画のトップに位置付け
- 文化やスポーツに親しめる環境を整え、活力や生きがいを育み、心豊かな市民生活を実現するため、「文化スポーツ政策」を新設
- 産業の活性化・稼げる力の向上をさらに推進するため、「観光商工政策」と「企業立地政策」を統合し「経済政策」を新設
- 地域の特性を生かしながら、まちの魅力や価値を高め、若者の活躍、定住人口の増加を図るため、「地域未来共創」の取り組みを新設
- 基地の所在を生かしたまちづくりを推進するため、「基地政策」を「まち分野」に位置付け

令和6年度につきましては、「99の政策」をブラッシュアップするための推進体制を構築するとともに、子育て支援・教育の充実の第一歩として「学校給食費の中学校3年生無償化」や、県・市連携による「特定不妊治療の支援」、「ながさきピース文化祭2025（第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭）に向けたプレイベントの実施」、「基地を生かしたまちづくりに関する意見交換の場」の創設、また、市役所本庁舎13階に「市民が眺望を楽しみながら、自由に使えるラウンジの設置」など、さまざまな事業の推進について、しっかりと検討し取り組んでまいります。市民の皆さまには引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が市民の皆さまにとって、健康で、素晴らしい、実り多い一年となりますようお祈り申し上げます。



SASEBO 99 Talk M Café



佐世保市防災ポータルサイト



弓張岳から見た初日の出 (令和5年1月1日撮影)